

南種子町郷土館 館報

令和2年度

令和3年3月

南種子町郷土館

目 次

第1章 館の概要	
第1節 沿革	1
第2節 館日誌	3
第3節 概要	4
第4節 組織	5
1. 館職員	5
2. 南種子町郷土館管理委員会	5
第5節 入館者状況	6
第6節 関係条例・規則等	7
第2章 館の事業	10
第1節 展示	10
1. 常設展示	10
2. 企画展示	12
第2節 体験学習	13
第3節 資料収集	16
第4節 資料整理	17

第1章 館の概要

第1節 沿革

- 昭和44年 2月28日 町立博物館設置準備委員を委嘱
- 昭和44年 3月 7日 第1回町立博物館設置準備委員会
- 昭和44年 3月25日 資料収集協力員と準備委員との合同会
- 昭和44年 4月14日 第2回町立博物館設置準備委員会
- 昭和44年 5月16日 第3回町立博物館設置準備委員会
- 昭和44年 6月 7日 第4回町立博物館設置準備委員会
- 昭和44年 9月13日 第5回町立博物館設置準備委員会
- 昭和44年11月 1日 大曲の宇宙ヶ丘公園に、「南種子町立南島民俗博物館」として開館。
- 昭和44年11月17日 第6回町立博物館設置準備委員会（最終）
- 昭和61年 3月 5日 旧国民保養センターを改装して「南種子郷土館」として開館
- 平成19年 2月 1日 旧郷土館の老朽化に伴い、旧公立種子島病院跡に一時移転して開館
- 平成21年 4月30日 館内の広田遺跡展示室を改修工事
- 平成24年度 社会教育課とともに、郷土館も旧南種子高等学校跡（南種子町中央公民館に改称）に移転して開館
- 郷土館&図書館合同企画「紙芝居（鉄砲大騒ぎ）を見て～割りばし鉄砲をつくろう！あそぼう！」開催
- 町立平山小学校総合的な学習の時間「古代料理づくり」「貝を使ったアクセサリづくり」の講師として出前授業
- 鹿児島県「蒲生小学校」勾玉づくり体験学習実施
- ミニ企画展「インギー鶏～僕たちを育ててくれた皆さん」開催
- 平成25年度 企画展「県指定記念！インギー鶏展」開催
- ミニ企画展「ジオラマで見る昔の人々の暮らし」開催
- 郷土館&図書館合同企画「紙芝居～ブンブンゴマづくり&遊び体験」開催
- ミニ企画展「ウミガメ展」開催
- 町内4校宿泊学習「勾玉づくり」出前授業
- 平成26年度 企画展「平成26年度新収蔵資料展」開催
- 企画展「戦後の長谷開拓」開催
- 企画展「県指定文化財 種子島南種子町宝満池鴨突き網猟」開催

- 平成27年度 企画展「塩と塩づくり」開催
企画展「砂糖と砂糖すめ」開催
町立中平小学校5年生宿泊学習「勾玉づくり」出前授業
- 平成28年度 社会教育課が本庁舎へ移転、郷土館の事務所と上中児童クラブが併設
企画展「平成28年度新収蔵資料展」開催
企画展「様々な畜力労働で活躍した馬の鞍展」開催
企画展「山本直純展」開催
茨城県立水戸農業高校研修「幻の鶏～インギー鶏を見に行こう！」の講師として寺内昭徳氏鶏舎・町立花峰小学校で出前授業
- 平成29年度 広田遺跡ミュージアム&郷土館ゴールデンウィーク合同企画「昔の子供のあそび体験」指導者として広田遺跡ミュージアムへ出向
町立中平小学校5年生宿泊学習「勾玉づくり」出前授業
町内4校宿泊学習「ヤコウガイのアクセサリーづくり」出前授業
広島県「沼田小学校」勾玉づくり体験学習実施
- 平成30年度 企画展「(故) 森越功先生(森越医院院長) 寄贈資料展」開催
企画展「昭和のふるさと写真展」開催
- 令和元年度 企画展「歌声の響(天皇・皇后両陛下作詞作曲)」の楽譜公開展開催
企画展「令和元年度新収蔵資料展」開催
企画展「日高稔展氏寄贈資料展」開催
- 令和2年度 山本直純氏寄贈資料「楽譜・レコード・書物等」の整理
企画展「南種子の民俗芸能展」開催

第2節 館日誌(令和2年度)

- 令和2年
4. 1 過去の企画展から「砂糖すめ(砂糖づくり)」のパネル展示開催
 4. 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面、体験学習は中止
 4. 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館(休館中は、館内外の清掃・山本直純氏の寄贈楽譜をはじめ、資料整理を実施)
 4. 21 資料収集:「足踏み式ワラ縄編み機(一部)」前村フサエ氏寄贈
 4. 28 資料収集:「種子島焼の鉢、他3点」前田九二四氏寄贈
 5. 26 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館していた館を本日から通常開館
 5. 27 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止していた体験学習を再開
 5. 28 インギー鶏育種会総会開催
 6. 5 郷土館管理委員会開催
 6. 7 企画展「歌声の響楽譜公開展」の準備開始
 6. 30 資料収集:才川忠則氏寄贈「約2億2千万年前の木の化石、他14点」
 8. 11 防犯訓練の実施
 8. 13 過去の企画展から「ウミガメ展」のパネル展示開催
 9. 8 小園實重氏寄託資料の再更新証の作成及び手続処理
 9. 19 企画展「南種子の民俗芸能展」の準備開始
 10. 3 資料収集:「特務船志自岐遭難関係資料」中嶋伝氏寄託
 10. 16 町立長谷小学校見学及び体験学習実施
 10. 22 町立中平小学校5年生体験学習実施
 10. 29 資料収集:「ワキ鋸」日高叶氏寄贈
 11. 1 企画展「南種子の民俗芸能展」開催
 11. 5 町立大川小学校見学
 11. 29 資料収集:「メジロ及びホオジロ用の鳥カゴ」柳田和則氏寄贈
 12. 8 平山地区老人会(町内)見学
 12. 22 資料収集:「タバコ盆(台湾製)」茅切安雄氏寄贈
- 令和3年
1. 26 令和2年度館年報作成開始
 1. 29 資料収集「書物(オーケストラがやって来たが帰って来た)他5点(山本純ノ介氏寄贈)
 2. 4 町立荃南小学校見学及び体験学習
 2. 12 館設置消防設備点検
 3. 17 令和3年度版「新生活ガイドめっかりもうさん」作成

第3節 概要

1. 博物館の名称 : 南種子町郷土館
2. 博物館の所在地 : 鹿児島県熊毛郡南種子町中之上2420-2
3. 設立年月日 : 昭和61年3月5日
4. 設置の名称及び住所
設置者 : 南種子町長 中峯 薫
設置者の住所 : 鹿児島県熊毛郡南種子町中之上2793-1
5. 博物館の種別 : 人文系博物館（民俗・歴史等）
6. 資料 : 民俗 2,157点・民俗芸能 468点・歴史 103点
山本直純寄贈関係 1,123点
7. 施設の状況 : 中央公民館・図書館・埋蔵文化財センターを含む複合施設
郷土館常設展示室 269 m²・特別展示室 21 m²・収蔵室 63 m²
8. 職員構成 : 館長 1名・学芸員 2名・庶務係 1名・管理員 1名
9. 開館及び休館日
開館時間 : 午前9時～午後5時
入館料 : 無料
休館日 : 毎週月曜日・毎月第4金曜日（資料整理日）
12月28日～翌年1月4日

第4節 組織

1. 館職員

◆館職員名簿

役 職	令和元年度（平成31年度）	役 職	令和2年度
館 長	松山砂夫（社会教育課長）	館 長	松山砂夫（社会教育課長）
庶務係長	才川いずみ（文化係長）	庶務係長	石堂和博（文化係長）
学芸員	石堂和博（文化係）	学芸員	石堂和博（文化係）
学芸員	小脇有希乃（文化係）	学芸員	小脇有希乃（文化係）
管理員	豊島 巧	庶務係	柳田啓伍（文化係）
		管理員	豊島 巧

2. 南種子町郷土館管理委員会

◆委員名簿

役 職	令和元年度 （平成31年度）	令和2年度
委員長	長田 忠	長田 忠
副委員長	柳田 和則	柳田 和則
委 員	岩澤 昭文	岩澤 昭文
委 員	日高 友典	日高 友典
委 員	稗畠 悦朗	稗畠 悦朗

◆令和元年度 南種子町郷土館管理委員会

日時：平成31年4月10日（水）13時30分～14時30分

場所：町役場研修センター1階西側会議室

協議内容：入館者状況・平成30年度事業報告・令和元年度事業計画・令和元年度年報等

◆令和2年度 南種子町郷土館管理委員会

日時：令和2年6月5日（水）13時30分～14時30分

場所：町役場研修センター1階西側会議室

協議内容：入館者状況・令和元年度事業報告・令和2年度事業計画・令和2年度年報等

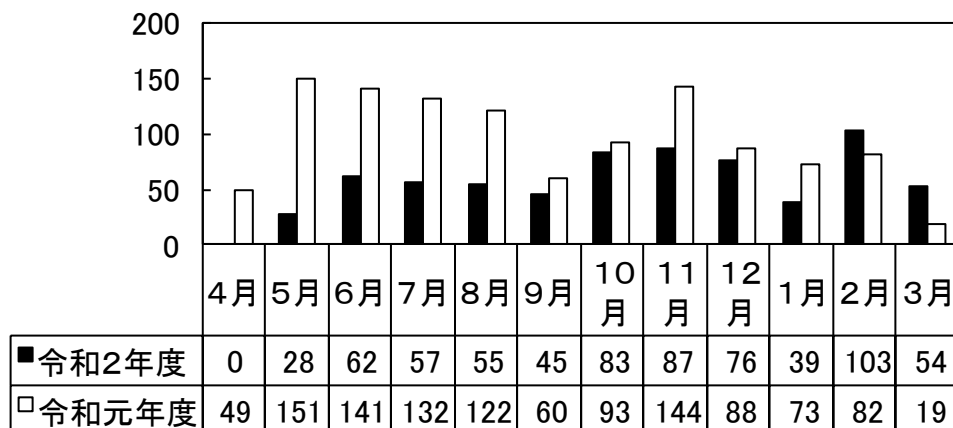
第5節 入館者状況

令和元年度 1,124名（町内864名・島内27名・島外233名）

令和2年度 689名（町内538名・島内39名・島外112名）

分類	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	計	町内	島内	島外
4月							0			
5月		15				13	28	28		
6月		46				16	62	61		1
7月		18				39	57	37	7	13
8月	1	25	1			28	55	42	6	7
9月		18			1	26	45	26	1	18
10月	1	39				43	83	64	6	13
11月	3	29	1			54	87	65		22
12月	1	11				64	76	54	3	19
1月	1	18	2	2		16	39	31	5	3
2月		51	1			51	103	93	5	5
3月	1	10	1	1		41	54	37	6	11
計	8	280	6	3	1	391	689	538	39	112

月別 入館者数の動向(前年度比較)



第6節 関係条例・規約等

◆郷土館管理運営規則

昭和 60 年 4 月 1 日

教育委員会規則第 1 号

改正 昭和 61 年 4 月 10 日教委規則第 1 号 昭和 63 年 3 月 10 日教委規則第 1 号
平成 4 年 6 月 26 日教委規則第 2 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この規則は、南種子町郷土館の設置及び管理に関する条例（昭和 60 年南種子町条例第 7 号、以下「条例」という。）第 9 条の規定に基づき、南種子町郷土館（以下「郷土館」という。）の管理運営について必要な事項を定める。

(休館日)

第 2 条 郷土館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで、12 月 28 日から 12 月 31 日まで
- (3) 展示物の整理日（毎月第 4 金曜日）
- (4) 前各号に掲げるほか、臨時に休館する日

(開館時間)

第 3 条 郷土館の開館時間は、休館日を除き、毎日午前 9 時から午後 5 時までとする。
ただし、館長は、これを変更することができる。

(入館者の制限)

第 4 条 次の各号の一に該当すると認めた者は、入館を許可しない。

- (1) 館内の風紀を乱し、又は静粛を害するおそれがある者
- (2) 前各号に掲げる者のほか、入館させることが適当でない者

(館内の秩序維持)

第 5 条 利用者は、館内において次の事項を守らなければならない。

- (1) 展示資料に手をふれないこと。
- (2) 静粛を旨とし、高読・高談その他騒がしい行為をしないこと。
- (3) 館内を汚損し、又は喫煙をしないこと。
- (4) その他係員の指示に従うこと。

(秩序維持に関する制限)

第 6 条 館長は、次の各号に該当する者があるときは、利用の許可を取り消し、制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 前条の規定に違反した者
- (2) 資料の利用に関し、この規則に違反した者
(損害賠償)

第7条 条例第7条に規定する損害の賠償は、現状回復又は現物をもってしなければならない。

- 2 前項に規定する場合において、現物の入手が特に困難と認められるときは、館長が指定する代物をもって賠償することができる。

第2章 管理運営

(職員)

第8条 郷土館に館長及び必要な職員を置く。

(職務)

第9条 館長は、上司の命を受け職務を掌理し郷土館の任務の達成に努める。

- 2 職員は、館長の命を受け館務にあたる。

(管理委員会の設置)

第10条 条例第4条第2項の規定により郷土館管理委員会（以下「管理委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第11条 管理委員会は、資料の収集・保管・展示等に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し及びこのために必要な調査研究を行う。

(組織)

第12条 管理委員会は、委員5名以内をもって組織する。

- 2 管理委員は、学識経験者の中から教育委員会が任命する。
- 3 管理委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 管理委員会に、互選による委員長、副委員長を置き委員長は会議を総理する。
- 5 会議は、委員長が招集し委員の過半数をもって成立する。
- 6 前項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

(庶務)

第13条 管理委員会の庶務は、教育委員会社会教育課において処理する。

第3章 資料の寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

第14条 郷土館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 前項の規定により資料を寄託しようとする者は、寄託書をもって寄託するものとする。

(寄託資料の管理)

第15条 寄託された資料の管理は、郷土館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、特別の措置を講じることができる。

(寄託資料の返付)

第16条 寄託資料は、寄託者の請求又は資料館の都合により返付することができる。

(経費の負担)

第17条 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、館長が必要と認めた場合はこの限りでない。

(損害賠償の責任)

第18条 寄託資料が火災その他不可抗力により滅失し、汚染し、又は損壊したときは損害賠償について、当該寄託者と町が協議して決定するものとする。

附則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 南種子町立博物館運営規則（昭和45年教育委員会規則第2号）は廃止する。
- 3 南種子町体育館使用規則（昭和41年教育委員会規則第1号）は廃止する。

附則（昭和61年4月10日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（昭和63年3月10日教委規則第1号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附則（平成4年6月26日教委規則第2号）

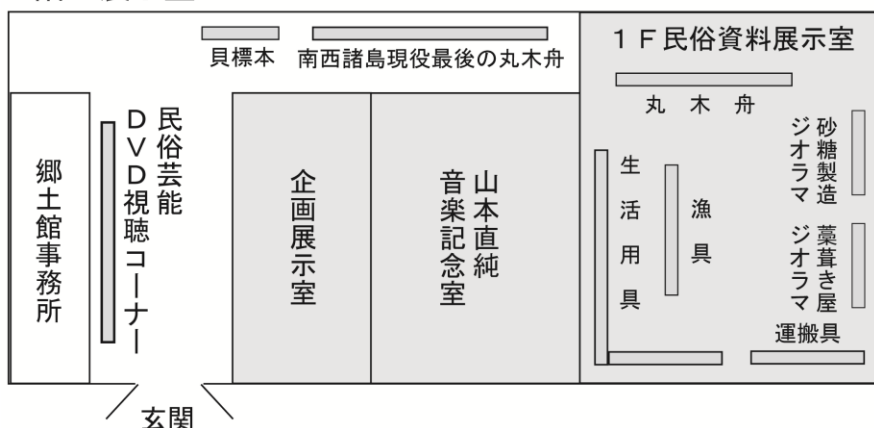
この規則は、公布の日から施行する。

第2章 館の事業

第1節 展示

1. 常設展示

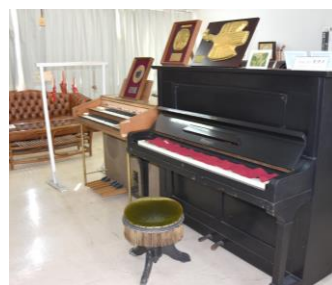
1階 展示室



1階民俗展示室（生活用具）



1階廊下（南西諸島
現役最後の丸木舟）



山本直純音楽記念室

◆民俗展示室（1階）

住まいに関する生活用具を中心に展示。

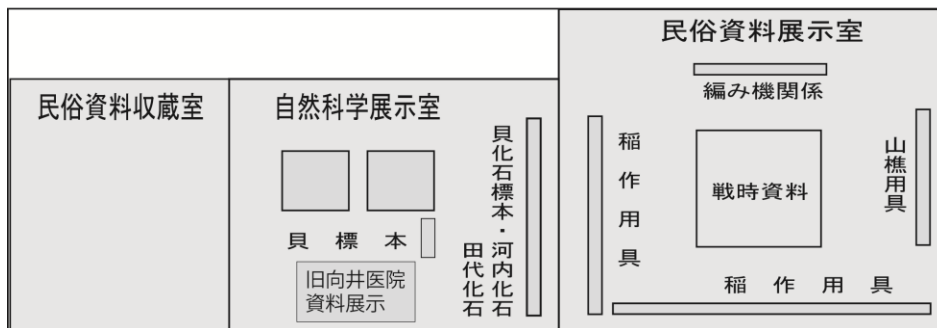
◆廊下（1階）

南西諸島において、現役で最後まで使用していた丸木舟（牛野春芳氏寄贈）を展示。また、隣接する1階民俗展示室には通常の丸木舟も展示しており、それぞれの歴史や生活感などの違いを感じて欲しいとのねらいもあり、比較展示を行っている。

◆山本直純記念室（1階）

山本直純氏愛用の楽器・オーディオ機器・レコード・盾・賞状などの寄贈品を展示。また、山本直純氏との交流のきっかけとなったイベント「英国祭トーンミーフェスティバル」についても、パネルで紹介している。

2階 展示室



2階民俗展示室（稲作用具）



2階民俗展示室（山樵用具）



2階民俗展示室（戦時資料）



2階自然科学展示室（貝標本）

◆民俗展示室（2階）

稲作用具を中心とする農具や山で使用する山樵用具等を展示。また、展示スペースの関係で、軍服・勲章・遺書などの戦時資料等も、同室に展示している。

◆自然科学展示室（2階）

今から1600万年前の河内貝化石群や500万年前の田代化石をはじめとする貝の化石標本を展示。また、併せて、種子島で採集した貝の標本も展示している。

2. 企画展示

◆過去の企画展から「砂糖すめ（砂糖づくり）」パネル展示

期間：令和2年4月1日（水）～8月12日（水）

内容：砂糖の歴史・製造法・種類等について解説。昭和61年から郷土学習の一環として行われていた「西之地区の黒糖づくり」（現在は行われていない）についても、写真パネルで紹介。

◆過去の企画展から「ウミガメ展」パネル展示

期間：8月13日（木）～11月11日（水）

内容：種子島は屋久島に次ぐ「アカウミガメ」の上陸地であり、ウミガメ監視員が撮影したウミガメの上陸や産卵の様子を撮影した写真や上陸数の状況をグラフ化したパネルなどを展示。さらにウミガメに関心を持ってもらうため、ウミガメに関するクイズもパネルで紹介。

◆過去の企画展から「種子島南種子町宝満池鴨突き網猟」パネル展示

期日：令和2年11月12日（木）～令和3年1月31日（日）

内容：宝満池の鴨突き網猟は、江戸時代前期頃から行われているとても貴重な風俗慣習で、県の文化財にも指定されている。パネル展では、猟の方法や猟で使用する突き網についてもミニチュアを展示して解説。また、鴨に関するクイズもパネルで紹介。

◆「南種子の民俗芸能展」

期間：令和2年11月1日（日）～12月27日（日）

内容：現在も地区の願成就祭りなどで奉納されている民俗芸能や伝承が途絶えてしまった民俗芸能などを地区ごとに写真で紹介。また、希望者には、これまで撮影してきた民俗芸能の映像も流し、こうした機会を利用して他の地区の民俗芸能もご覧いただいた。



第2節 体験学習

今年度は、割りばし鉄砲・ブンブンゴマ・紙粘土勾玉・貝殻アクセサリー・アンギンコースターづくりなどの体験学習を実施。(竹笛については、直接、口に銜えて使用するので、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度は中止した。)

◆割りばし鉄砲づくり

割りばし鉄砲は、割りばしと輪ゴムを使って鉄砲をつくり、輪ゴムを飛ばす昔の子供の遊び道具である。本町「南種子町」は1543年(天文12年)、明国船(ポルトガル船籍)が漂着し、乗っていたポルトガル人から鉄砲が伝わったという歴史的背景もあることから、その史実も伝えながら割りばし鉄砲づくりを行っている。

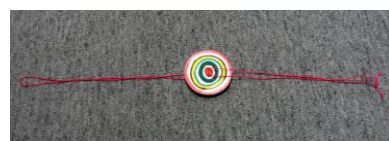
銃砲の銃身を長くすることで、よりスピードや威力がつくが、コントロールは少し難しくなる。また、輪ゴムを掛けた時にすぐに飛んでしまう場合は、引き金に暴発防止のための輪ゴムを取り付ける。銃口には、カッターで溝を掘って輪ゴムを掛ける方法と十字型になるように輪ゴムで取り付け、輪ゴムを掛ける方法があるが、体験学習では、怪我をしないように、後者の十字型にしている。さらに、鉄砲に自分の好きな色を塗って、見映えを良くしたり、厚紙でつくった恐竜の的をねらって倒し、的につけられた点数を競うゲームなども行っている。



◆ブンブンゴマづくり

ブンブンゴマは、ダンボールや紙パネルなどを丸く切って、中央に2か所穴をあけてヒモを通して作る。ヒモを引っ張ったり、緩めたりすることでヒモがよじれたり、元に戻ろうとする原理で回す昔の遊び道具である。このよじれたヒモが元に戻ろうとする原理は、舞hiri式の火おこし道具の芯棒(摩擦棒)を回す原理と同様であることから、「火おこしの体験学習」を行う際にも紹介している。

また、ダンボールの表面に様々な模様や色を塗ることで、コマが回った時にできる微かな色合いを楽しむ



こともできる。

因みに、通常、コマに塗られている色には、健康への願いが込められているといわれ、昔は新築や入学のお祝い・5月の節句・結婚式の引き出物などに贈られていたようである。

＊赤色は心臓の健康・黒色は腎臓の健康・黄色は肝臓の健康・緑色は脾臓・白色は肺の健康を意味するといわれている。



◆紙粘土でつくる勾玉づくり



広田遺跡ミュージアムでは、滑石という軟らかい石を紙ヤスリで削って勾玉づくりを行うが、埋蔵文化財センターでは、まず紙粘土で勾玉の形をつくり、それを4～5日乾燥させてから3種類の紙ヤ

スリで表面を磨いていく方法で行っている。しかし、この方法では参加者は2回来なければならないため、1回で完成させたい方には、館であらかじめ型枠で作って乾燥させておいたものを使用して、磨いてもらっている。また、きれいに磨いた表面には防水処理として、自分の好きな色や模様をアクリル絵の具で着色している。完成した勾玉は、ヒモを取り付けて首飾りにする。

◆貝殻アクセサリーづくり



水を入れた紙コップに3～4色のマニキュアを1滴ずつ垂らすと波紋ができ、それをつま楊枝などで模様を作り、その中にタカラガイなどの貝殻を入れて、模様を写し取るものである。マニキュアの色や模様の作り方、貝殻の大きさや貝殻を入れる場所によってそれぞれ違った模様になり、自分だけのオリジナルな貝殻アクセサリーができるのが最大の魅力で、人気がある。

また、貝殻の模様が乾くまでの時間を利用して、貝に取り付けるためのストラップ（ヒモ）を編むようにしている。

◆アンギン（縄文時代の編み機）によるコースターづくり

アンギンは、衣服や物を入れる袋などを編んでいた縄文時代の編み機である。体験学習では実用を兼ねて、湯呑み茶碗やコーヒーカップなどの下に敷くコースターづくりを



を行っている。実際編んでみると、1人でヒモを押さえながら編んでいくのは難しく、子供たちには写真のように、1人がヒモを押さえ、もう1人が編んで行くといったふうに2人1組で行うようにしている。

また、ヒモにマジックで好みの色を塗ることで、自分だけのオリジナルのコースターを作ることができる。

令和2年度南種子町郷土館及び埋蔵文化財センター体験学習室利用状況

月	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	計	町内	島内	島外
4月合計	4月1日～5月25日まで 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、体験学習を中止。									
5月合計		15					15	15		
6月合計		40					40	40		
7月合計		17					17	17		
8月合計		22				2	24	21	3	
9月合計		18					18	18		
10月合計		16				4	20	17	3	
11月合計		24	1			6	31	31		
12月合計		7					7	7		
1月合計		12					12	12		
2月合計		11				1	12	12		
3月合計		9					9	9		
計		191	1			13	205	199	6	

第3節 資料収集

今年度は、新収蔵資料として、計26点の資料を寄贈して頂いた。

提 供 者	住 所	資 料 名 (個数)	備 考
前村 フサエ	長 谷	*足踏み式ワラ縄編み機一部(4)	
前田 九二四	神奈川	*種子島焼の鉢(1)・甕(1) *書物「種の国に生きる」(1) *書物「昭和回顧録 わが人生の記」(1)	南種子 町出身
才川 忠則	上 中	*約2億2千万年前の珪化木(1) *明治三十七八年従軍記章の證書「才川助市」 (1) *明治三十七八年戦役の功の證書「才川助市」 (1) *陸軍工兵伍長任命證書「才川助市」(1) *陸軍工兵軍曹任命證書「才川助市」 (1) *銃工術卒業證書「才川伊角」(1) *明治勲章勲八等白色桐葉章「才川伊角」(1) *明治三十七八年従軍記章の證書「才川伊角」 (1) *善行證書「才川伊角」(1) *明治三十七八年戦役の功の證書「才川伊角」 (1) *日露戦争の宣戦詔勅(2) *戊申詔書(1) *第7回馬耕競技会證書一等賞「才川伊角」 (1) *第10回鹿児島県農会農事講習会修了證書 「才川助市」(1)	
日高 叶	上 中	*ワキ鋸(1)	
柳田 和則	上 中	*メジロ用鳥カゴ(1) *ホオジロ用鳥カゴ(1)	

提 供 者	住 所	資 料 名 (個数)	備 考
山本 純ノ介	東 京	＊書物「オーケストラがやって来たが帰って来た」(1) ＊松竹映画「男はつらいよシリーズ50周年記念作品「お帰り寅さん」オリジナルサウンドトラック CD (1) ＊山本純ノ介室内楽作品集「来るべき汎音楽」の CD (1) ＊雑誌取材記事のコピー (2) ＊コロナ禍ノンディミヌエンドのメロディー譜コピー (1)	山本直純氏 (長男)

第4節 資料整理

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止として、4月1日～5月25日まで臨時休館となり、その間、山本直純氏より寄贈して頂いた楽譜やレコード・書籍等の整理を行った。

◆山本直純寄贈楽譜

＊山本直純関係：81タイトル (原譜533部・コピー譜928部)

＊山本正美関係：29タイトル (原譜60部・コピー譜32部)

◆山本直純寄贈録音テープ (オープンリール)

＊182本

◆山本直純寄贈レコード

＊175タイトル (212枚)

◆山本直純寄贈CD

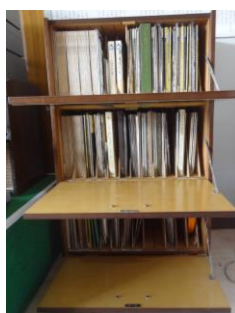
＊3枚

◆山本直純関係ビデオ

＊8本

◆山本直純寄贈書籍

＊379タイトル
(463冊)



レコード関係



録音テープ関係



書籍関係



楽譜関係